其點カラ見レバ本種ハ全ク無價値カモ知レナイガ、シカシ臺木ニモナルシ、マタ BAILEY 氏ナドハ本種ノ觀賞的價値ヲ强調シテ居ル位ダカラ、アナガチ捨テタモノデモアルマイ。其後小泉源一博士カラ北京産ノ標本ヲ頂イタガ、ソレトハ之下ハ多少違フ様デアルガ私ハ決定シ兼ネル。

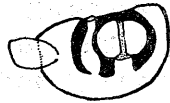
○ Monotropa モ亦我ガ國ニ産ス

筆者ハ本誌第十四卷第六號 426 頁ニ我ガ國デ *Monotropa uniflora* L. ニ當テテキタモノノ大部分ガ *Monotropastrum* デアル事ヲ報告シタガ、眞ノ *Monotropa* モ亦我ガ國ニ産スル事ガ明カニナツタ。今迄標本デ二三ソレラシイモノヲ見タガ生品デ確メル機會ガナカツタ所、本年 9 月 18 日久内清孝氏ハ武藏高麗村デ開花シタ生品ヲ採集サレ私ニ送ツテ下ツタ。全體白色デ外形ハ頗ルヨク *Monotropastrum* ニ似テ居テ一見識別困難デアルガ、莖ハ上部マデ全ク無毛デ、花瓣ハ 5 枚、雄蕋ハ 10 本、內面ノ毛ハ花絲ノ毛ト共ニ *Monotropastrum* ニ比シ稍少ク軟カイ。最モ著シイ差異ハ花ノ內部デ、葯ハ 2 條ノ隙間デ裂開シ、*Monotropastrum* ノ樣ニ橢圓形ノ蓋デ開ロシナイ。子房ハ縱ニ淺イ 10 條ノ溝ガアリ、5 室デ 5 個ノ凸出シタ中軸胎座ヲ有シ、胚珠ハ細長ク、花柱ハ子房カラ明カニ區別デキ、柱頭ハ決シテ藍色ヲオビズ稍黃褐色ヲ呈スル。一方 *Monotropastrum* デハ子房ハ球狀デ殆ド溝ナク先端ハ花柱ニ連ナリソノ境ハ不明デ、中ハ 1 室デ 6-13 個ノ凸出シタ側膜胎座ヲ有シ、胚珠ハ圓ク、柱頭ハ藍色ヲオビルノガ普通デアル。又 *Monotropa* ハ蒴果デ 5 裂片ニ裂開シ、種子ハ鋸屑狀デアルガ、*Monotropastrum* デハ漿果デ種子ハ廣橢圓形デアル。發生ノ時期ハ今迄ノ所 *Monotropa* ハ秋ニ知ラレテキルノミデアルガ、*Monotropastrum* ハ 5 月カラ 10 月マデ發生スル。扨テ和名ノ問題デアルガコレヲ正確ニ當テル事ハデキナイガ、我國デハ *Monotropastrum* ノ方ガ普通ノ樣デアルカラ、ぎんりようさう (いうれいたけ) ノ名ハソノ方ヘ殘シ、*Monotropa* ノ方ヘハ**いうれいたけもどき**ノ新名ヲ付スル事ニスル。次ニいうれいたけもどきガ *M. uniflora* L. ト同種カ否カトイフ事デアルガ、米國産ニ比シ莖ガ太ク鱗片葉モ幅ガ廣イ樣ニ思ハレルカラ假ニ **Monotropa nipponica** HARA ノ名ヲ與ヘ、米國産ト比較研究ノ後記載ヲ發表スル。いうれいたけもどきノ産地ハ上記武藏高麗村ノ外、武藏三ツ峯、常陸筑波山、駿河富士山デアルガモツト廣ク分布シテキルモノト想像サレル。終ニ久內清孝氏ノ何時モナガラノ御好意ニ對シ深ク感謝スル。（原　寬）

〔附記〕上記ノ論文ハ著者ガ渡米ノ途中ハワイヨリ投函サレタモノデアルガ、同氏出發ノ後、佐竹義輔博士ハ鄕里秋田縣湯澤町附近ニテ眞正ノ *Monotropa* ヲ得ラレ、更ニ朝比奈博士モ武藏伊豆ケ岳ニ於テ去ル十月ニ採集サレタ。（佐藤正己）

○ 東京市內ニ繁殖スル Wolffia 屬ニ就イテ

本年 10 月末日ニ東京府立七中附近ノ溜池デ採集シタ浮草ノ一種ヲ調ベテ見ルト *Wolffia arrhiza* WIMMER. デアツタ。發生ノ場所ハ精シクハ東京市向島區寺島町內ノ小倉別邸ノ跡

ノ池デアッテ、約 1000 坪ノ池面ノ 9 割近クハ完全ニコノ浮草デ覆ハレ、僅カニうきくさヲ混ヘテキルニ過ギナイ。雨デ池水ガ溢レルト、池畔ノ道ノ上ニ厚サ 10 cm 位ニ積ル位デ、大イニ繁殖シテキルノデアルガ、中路ノ觀察ニヨルト二三年前迄ハ全然發生セズ昨年ノ 5 月頃カラ急ニ猛烈ニ繁殖シ始メタモノデアル。昨年迄ハ渡鳥ガ飛ンデ來タ事ガアルカラ、ソノ爲ニ持込マレタモノカトモ思ハレルガ、近來熱帶魚ノ商人ガ種々ノ水草ヲ輸入シタ事實ガアルノデ、ソレガ逸出シタモノカモ知レナイ。何レニシテモ三木博士ノ說ノ如ク今迄分布ノ機會ヲ得ナイタメニ生育シナカッタノデ、コノ汎世界的ノ分布ヲ有スル浮草ハ東京附近デモ充分生育シ得ル事ガ判ル。RIDLEY ニヨルト急激ニ繁殖シテ又忽チノ中ニ消滅スル事ガアルト言フカラ、今後注意シテ見タイ。澤山ノ個體ニ就イテ見タガ花ハ發見デキナカッタ。全體ハ鮮綠色ノ楕圓體デ、大キナモノデ長サ約 580 μ, 幅 420 μ, 厚サ 480 μ アリ、背面ハ平タク腹面ハ圓ク舷ニアタル部分ハ角バッテキル。一層ノ表皮ノ細胞ハ略一樣デ小形 (約 25 μ) デアルガ內部ノ細胞ハ背面デハ小サク (約 30 μ), 腹面ニ至ルニ隨ヒ大キク (約 100 μ) ナル。背面ニハ數個ノ氣孔ヲ有シソノ長徑ハ約 160 μ アル。此等ノ性質ハ HEGELMAIER ノ記載ト全ク一致スル。本誌 14 卷 2 號ニ佐藤月二氏ハ京城カラ *Wolffia* ヲ紹介サレタガ、東京ノモノモ殆ンド違ハナイ。背面ニ乳頭細胞 (Papillenzelle) ノ見ラレル事モ同樣デアル。唯同氏ノ葉脈ト見做サレル細胞列ハ認メラレナカッタ。サテ日本デ最初ニ *Wolffia* ヲ採集シタノハ牧野先生デアル。ソノ標本 (臺北、Nov. 1896) ガ東京帝大ニアルノデ煮戾シテ見タ。アマリ良クハ復原シナカッタガコレモ亦東京ノモノト同種ト認メル。日本デ今マデ發見サレテキルモノノ學名ハ正宗氏ト同ジク *Wolffia arrhiza* WIMMER ヲ用ヒタイ。牧野先生カラノ來信ニヨルト、和名デハとつぶうきくさ (牧野) ガ最モ早ク、みぢんこうきくさハ第二次ノ名デ又最近こなうきくさ (正宗) ガ追加サレタ事ニナル。*Wolffia arrhiza* ノ花ハ背面ノ平タイ所ニ穴ガアイテソノ中ニ雄蘂ト雌蘂ガ一本宛立ツト言フ顯花植物中デ最モ簡單ナモノデアルガ、日本デハ誰モ見タ事ガ無イ筈デアルカラ同好ノ人ハ是非コレヲ見出シテ頂キ度イモノデアル。圖ノ左端ハ娘芽 (Tochterspross), 中央ニ黑クナッテキル所ハ花孔 (Blütengrube), ソノ中ノ左側ニ立ッテキルノガ雌蘂、右側ニ立ッテキルノガ 2 室ノ葯ヲ有スル雄蘂デアル (HEGELMAIER: Die Lemnaceen, eine monographische Untersuchung, 1868 ヨリ縮小轉寫)。中井教授ハ學生ニ對スル講義中デコノ屬ヲうきくさ科 (*Lemnaceae*) ヨリ分ケテみぢんこうきくさ科 (*Wolffiaceae*) ヲ建テルノガヨイトサレテキル。

(中路正義, 津山 尙)

○ 臺灣ニ Portulaca quadrifida ヲ產スル

Portulaca quadrifida LINNAEUS (こまつばぼたん, 新稱) ハアフリカ、アジアノ熱帶カラミクロネシアニ迄分布シテキル。細クテ地上ニピッタリ附着シテ匍フ莖ノ上ニハ卵形デ先端ガ尖リ明瞭ナ細イ葉柄ヲ有スル葉ヲ對生シ、莖ノ先端ニ紅色ノ花ヲ開ク小サイ草デアル。從來南洋ヲ除ク日本領內カラハ報告サレテキナカッタガ、最近臺灣ノ標本ヲ調ベテ見ル